

釣り中の事故にご用心！！

Part2

★九死に一生★ 事故生存者からの体験談

◆事故概要

Aさんは、平成29年11月10日午前10時50分頃、磯場でルアー釣り中、ルアーが下方の岩場に引っかかったため、これを取ろうと波に背を向け岩場を降りていたところ、突然、後ろからきた大きな波により体勢を崩し、海中転落しました。20分ほど海面を漂い、海中転落場所から少し離れた岩礁に何とかよじ登ったものの、高波により再び海中転落しました。その後、寄せ波により、陸続きの岩場までたどり着くことができましたが、寒さと疲労により、這い上がることができず、また、所持していたスマホも水没し、使用できなかつたため、通報もできずにいたところ、たまたま近くに居合わせた目撃者により、陸上まで引揚げてもらい、九死に一生を得ました。



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609



マリレよろず

検索

マリレ情報よろず屋URL>>> <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.html>

◆事故者のコメント

海中転落したとき、『ヤバイ！死ぬ！！』と思った。

波に攫われ、海底まで引きずり込まれたが、救命胴衣を着用していたおかげで浮上できた。

救命胴衣を着用していなかったら、確実に死んでいたと思う。

また、発見してくれた方に助けられなかったら、低体温症で動くことができずにいたので、死んでいたと思う。



事故から学ぶ教訓！

【GOODポイント】

救命胴衣を着用していた



海面に浮上(呼吸)できた

【BADポイント】

持っていたスマホが水没した
(防水パックにいれるなど、
防水対策していなかった)



通報(救助要請)できなかった

【LUCKYポイント】

・たまたま近くに目撃者がいた → 救助・通報してもらえた

◎事故防止の基本は・・・

- ①ライフジャケット着用の徹底
- ②適切な連絡手段の確保(防水パックの活用)
- ③海の緊急通報118番の有効活用
- ④複数名行動の励行
- ⑤立入りが禁止されている防波堤等へ立ち入らない
- ⑥子供から目を離さない



自分の命を守るためには、自らの心がけが重要です！



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

